

保険2（生命保険）第4章リスク管理の修正・追加（2022年8月）

該当 頁	該当箇所の現状	修正
i	<u>（注）本章は・・・用いています。</u>	削除。
7	モデルを構築するための基礎となったモデルの暗黙の前提が有効性を失っている。	文末に「（訳注：例えば近似式や符号の制限など）」を追加。
7	モデルリスク評価が適切な状況と適切でない状況	「モデルリスク」を「モデルとリスク」に修正。
17	評価の対象となる ERM 体制の <u>実践</u> の各分野に対しては、別個のスコアが付けられるべきである。次表では、リスクの特定というリスク管理 <u>実践</u> の一領域におけるスコアリングの例を示した。この <u>実践</u> の例は、 <u>レビュー担当者</u> をこうした特定の <u>実践</u> に <u>貼り付け</u> ことを意図するものではない。ERM の <u>実践</u> は常に変化していることから、評価プロセスに <u>固定的な実践</u> を含めてしまうと、文書の作成後に生まれた <u>新たな実践</u> が含まれずにプロセスが陳腐化してしまうおそれがある。	文中に7か所ある「 <u>実践</u> 」を全て「 <u>実務</u> 」に修正。 「 <u>レビュー担当者</u> 」を「 <u>評価者の視点</u> 」に修正。 「 <u>貼り付け</u> こと」を「 <u>限定すること</u> 」に修正。
20	リスク許容度とは、決められた・・・リスクの <u>尺度</u> である。	「 <u>尺度</u> 」を「 <u>基準</u> 」に修正
37	特定の外部データフィールドの使用は・・・ <u>重大なオペレーショナルリスク</u> につながる恐れがある。	文末に「（訳注：例えば違法に取得された個人情報などが含まれる場合など）」を追加。
46	・ <u>整合的に</u> 提供される情報は、 <u>整合的な</u> 評価を可能にするべく、作成と報告の両面で <u>整合性</u> が取れたものであることが望ましい。	文中に3か所ある「 <u>整合</u> 」を「 <u>首尾一貫</u> 」に修正。 文末に「（訳注：例えば報告段階で重大な情報の欠落がないこと）」を追加